

ICGN の日本のガバナンス及びスチュワードシップに関する優先課題(暫定)

日本取引所グループ、東京証券取引所共催

2022 年 10 月 4 日(火)

場所: 東証ホール

---

8:45 - 9:00 受付

9:00 - 9:07 小沼泰之東京証券取引所取締役、専務執行役員 挨拶

9:07 - 9:15 ICGN CEO ケリー・ワリング 挨拶

9:15 - 10:15 ICGN 日本のガバナンスの優先課題に関する報告書更新版の発表

2019 年、ICGN は、有価証券報告書、資本効率、役員報酬、取締役会の質に関する推奨事項を含む、日本のガバナンスの優先課題に関する報告書を発表しました。本年、ICGN は日本のガバナンスに関する優先課題の報告書更新版を発表し、ガバナンスの進捗状況に関する世界の投資家の意見を提供し、改善すべき分野を明確にします。JPX プライム市場の導入や最近更新されたコーポレートガバナンス・コードなどの改革努力が持続可能な企業価値にプラスの影響を与えているか、そして建設的な株主と企業の対話についての障害をいかに克服するかについて議論します。

- ジョセリン・ブラウン、T.ロウ・プライス、ヘッド・オブ・ガバナンス、英国
  - 川添誠二、三井住友トラスト・アセットマネジメント、シニア・スチュワードシップ・オフィサー、日本
  - 大枝宏之、荏原製作所社外取締役、取締役会議長
  - ジェン・フィ・タン、フィデリティ・インターナショナル、ヘッド・オブ・スチュワードシップ & サステナブル・インベスティング、シンガポール
- モデレーター: ポール・シュナイダー、ICGN 理事会副議長、オンタリオ州教職員年金基金、カナダ

10:15 - 10:45 休憩



10:45 - 12:00 ICGN-GISD アライアンスによるモデル・マンデートの発表

モデル・マンデートは 2012 年に ICGN によって最初に発表され、国連が支援するグローバル・インベスターズ・フォー・サステナブル・ゴール・アライアンスと協力して更新されました。モデル・マンデートは、国連の持続可能な開発目標を投資家のスチュワードシップ活動に組み込む方法に関するガイダンスを提供します。これは、アセット・オーナーが長期的な価値を維持、向上させるための取り組みとして資産運用会社と委託契約に合意する際に考慮すべき契約条件の例を提供します。私たちのグローバルなアセット・オーナーと運用会社のパネルは、持続可能な開発への投資とは何か？ 契約交渉前に何を考慮すべきか？ 持続可能性の目標は、投資方針、ポートフォリオ設計、および手数料体系にどのように組み込まれるべきか？ 成功裡に実施するための課題と機会は何か？を検討します。

- デビッド・アトキン、PRI、CEO、英国
- ミハエル・ヘルスコビッチ、BNP パリバ・アセットマネジメント、グローバル・ヘッド・オブ・スチュワードシップ、フランス
- クラウディア・クルス、APG アセットマネジメント、責任投資ガバナンス部門マネジング・ディレクター、オランダ
- テレサ・テイラー、カルパース理事会議長、米国

モデレーター：小野塚恵美、ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ

12:00 - 12:05 閉会の辞、イアン・バーガー、ICGN 理事会議長、ニュートン・インベストメント  
マネジメント、責任投資部門長、英国